

平成26年度「女性研究者研究交流会」開催報告

平成26年12月15日（月）
於・学術総合センター

平成26年12月15日（月）に学術総合センター（東京・千代田区）において「平成26年度女性研究者研究交流会」を開催しました。今回で3度目となる本交流会では、全国の高専に在職する女性研究者が、日頃の教育研究活動の成果や課題、ライフイベントを含めた個人の生活と教育研究活動の関わりについて発表・紹介を行ない、専門分野・地域・年齢等を超えた研究交流を図るとともに、研究者としての資質向上を目的としています。今年度は国立高専以外にも公立・私立の高専からの女性研究者からもご参加いただき、約80名の参加がありました。また、約60名の研究発表者がポスターセッション形式にて自分の研究やキャリア形成などを紹介し、参加者同士の意見交換やネットワーク作りが盛んに行われました。



★会場の様子)

「プログラム内容」

■ 開会、来賓挨拶、事業説明 10:00～10:20



★小畑理事長

主催者挨拶として、国立高等専門学校機構 小畑秀文理事長より科学技術分野における女性の活躍に関する期待が述べられ、本交流会を楽しみつつ、よりよい研究活動環境や女性が働きやすい職場に役立つ実りある会になるよう情報交換をし合い、それぞれの職場に持ち帰ってほしいとのお話がありました。続いて、文部科学省生涯学習政策局 河村潤子局長よりこれからの高等教育機関に求められていることに言及され、工学系の多い高専の中での女性研究者の活躍は若い世代のロールモデルとなることや、地域連携、新しいビジネス事業が求められる社会にとっても女性の視点は重要であるとの挨拶をいただきました。



★文部科学省生涯学習政策局 河村局長

次に、女性研究者研究活動支援事業取組責任者である奈良工業高等専門学校 上田悦子教授より女性研究者研究活動支援事業の取組みと今までの活動内容について説明がありました。



★上田教授

■ 基調講演 10:30～11:20

今年度の基調講演は、独立行政法人国立女性教育会館 内海房子理事長より「高専における女性研究者の発展に向けて」と題し、女性が働く環境に関する法律・制度の施行や変化を照らし合わせながら、ご自身が歩んでいらしたキャリア、日本の男女共同参画社会の現状、今後の動向や可能性についてのご紹介がありました。そして最後に、男女共同参画社会の実現に必要なことは、あらゆる分野で男女が対等な構成員としてそれぞれの能力を十分発揮して喜びを分かち合い、責任も男女で担うことであると述べられ、特に、家庭生活や地域活動への男性参加や政策決定の場への女性進出など相互乗り入れが必要であることから、チャンスを活かし、変化を恐れず、挑戦するよう激励のお話がありました。

★国立女性教育会館 内海理事長



■ 研究発表 午前の部（ポスターセッション） 11:20～12:50

発表者約60名の研究発表を11:20よりスタートしました。発表者に前半と後半のコアタイムを設け、自分の研究や日常の教育活動、キャリアパスなどを発表したり、他の教職員のブースに訪問したりと、多くの参加者が盛んに意見交換を行っていました。また、文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課 和田勝行人材政策推進室長が、開会から引き続き研究発表会にも足をお運びいただき、熱心に研究発表者の発表に耳を傾けてくださいました。



★研究発表の様子

■ パネルディスカッション 13:40～15:40



御手洗先生よりパネルディスカッションでは、パネリストの岡崎久美子先生（仙台高等専門学校教授）、若杉玲子先生（熊本工業高等専門学校講師）、岩熊美奈子先生（都城工業高等専門学校准教授）、モデレータの国立高等専門学校機構 大島まり理事により「高専で切り拓く 女性研究者の未来～一人ひとりの取組から考える～」について議論が展開されました。まず、前半では、大島理事および3名のパネリストの先生方から自己紹介、研究紹介、研究環境を整えていくポイントなどをお一人ずつ発表していただきました。



★左から、大島理事、仙台高専 岡崎教授、熊本高専 若杉講師、都城高専 岩熊准教授

続いて、後半では、大島理事の進行のもと、会場から寄せられた質問票の中からテーマを取り上げ、「共同研究の取りかかり、人脈作り、進めていく工夫」、「日々の多忙なタイムスケジュールでどう業務をこなしているのか」、「ストレス解消、高いモチベーションを保つには」、「学生対応での女性教員の課題」などについて、それぞれのパネリストの先生方にご自身の経験や考えについてご回答、ご紹介いただき、女性研究者として今後の参考となる活発な議論が行われました。



★パネルディスカッションの様子

■ 研究発表 午後の部（ポスターセッション） 15:40～16:40

研究発表午後の部が15:40からはじまり、午前同様約60名の発表者がポスターセッションを行いました。参加者同士の専門分野、地域、年齢を超えた交流が盛んに行われ、交流のネットワークが広がっていく様子が見られました。



★挨拶する上田教授（左）、研究発表の様子（中、右）